

商業歴史ハ内外各國ニ於ケル商工業ノ盛衰發達ヨリ
通商上ノ要領ヲ講説シ專ラ商業社會ノ大勢ニ通曉セ
シメシコトヲ要ス

第十一 商品

商品ハ天産ト人工トヲ問ハス各種商品ノ品質種類、産
地、効用、價格、荷造法等ヨリ需用供給ノ景況ヲ説明シ兼
テ其精粗真贋ヲ鑑定スルノ技能ヲ養成セシム

第十二 物理

物理ハ諸力音響熱光電氣氣象等ニ關スル性質原因等
ノ最モ實用ニ密接ノ關係アル部分ヲ授ク

第十三 化學

化學ハ無機、有機ノ大意ヲ授ク傍ラ應用及鑑定法等實

地試驗ヲ施シ眞理變化ノ作用ヲ會得セシメシコトヲ
要ス

第十四 英語

誦讀ハ發音聲ノ抑揚斷續ヲ明カニシテ讀音ヲ正シ兼テ
對話作文ノ資料トナスニアリ

譯解ハ語詞章句ノ意義ヲ明カニシ兼テ翻譯ノ資料ト
ナスニアリ

綴字ハ文字分音ノ區別等ヲ授ク以テ發音ヲ正サシム
習字ハ姿勢執筆ノ法ヲ授ク字形ノ大小結構ニ注意セ
シメ務メテ字形明晰運筆快暢ナラシメシコトヲ要ス
書取ハ單語或ハ章句ノ筆記ニ慣レシメ專ラ落字誤綴
ナキヲ要ス

會話ハ談話ニ熟シ實地ニ臨ミ應用スルノ技倆ヲ養成
 スルニアリ故ニ初メ日用簡短ノ談話ヨリ商業上慣用
 ノ言語ヲ教ヘ漸ク習熟スルニ從ヒ教師又ハ生徒相互
 ニ對話活用シ專ラ語勢及狀態等ニ注意シ將來外人ニ
 接シ縱横自在ニ活用セシメシムコトヲ要ス
 文法ハ語詞ノ用法格式ヨリ文体ノ組織其他必要ノ法
 則ヲ授ク文章ヲ作ルノ資ニ供セシム
 作文ハ日用往復文ヨリ漸ク進ムニ從ヒ貿易上ノ通信
 報告書記事論說文ニ至ル迄最初各様ノ書式文例ヲ授
 ク適實ノ題ヲ課シ之ヲ作爲セシメ事理簡明ニシテ語
 句穩當ナルヲ要ス

第十五 實習

實習ハ各種商業ノ營業組織ノ事務ヲ詳ニシ專ラ實用
 ニ適セシメシムコトヲ研究スルニアリ其法實踐室内ニ
 各商店本支店會社代理店銀行稅關郵便電信局等ヲ擬
 設シ通貨手形用紙商品等ノ模形ヲ造リ生徒ヲシテ取
 引上ノ順序方法帳簿記入商品ノ鑑定等ヲ爲サシメ以
 テ既修ノ學理ヲ應用セシム是本科三年生徒ニ授クル
 ノ要旨ナリ然レトモ此ノ如キハ素ヨリ僅少ノ時日ニ
 於テ決シテ能クシ得ヘキニアラス依テ第二年生徒ヲ
 シテ第三年ノ科程ニ進ムノ前ニ該科練磨ノ爲メニ必
 要ナル豫修ヲ爲サシム

第十六 商業要項

簡易科設置ノ趣旨ヲ貫キ卒業生ヲシテ正整ナル商業

商	圖	經	法	化	物	英
品	畫	濟	律	學	理	語
	一	一	一	二	一	八
	自在畫着色畫用 器畫	通	民 例法 規大 則意	應用及 鑑定法大意	器 械 熱 電 氣 等	誦 讀、 會話、 文法
		論	二			八
二		二	商 法 大 意			作 同
內 外 國 產		貨 幣、 租 稅、 銀行、 貿易	上			文 上
二		二	二			八
同		同	同			同
						上

第二號表

實	體	合
習	操	計
	二	三
	兵	
	式	
二	二	三
豫	同	
	上	
習	二	三
四	同	
內		
外		
國	上	

豫科學科課程表

讀	學	科	每	週	時	年	限	豫
書	三	講	讀	一	分	年		

商業	作文	一	往復文
習字	三	三	體
數學	四	珠算(四則) 筆算(四則雜題ヨリ比例迄)	
簿記	四	總論 普通單式記帳 複式記帳	
地理	一	日本地理	
歷史	一	內外國歷史	
圖畫	二	自在畫 着色畫 用器畫	

第三號表

理化	三	大意
英語	九	綴誦、 字讀、 會譯、 話解、 文習、 字法、
体操	二	兵式
合計	三三	

學科課程表
簡易科

科目	每週時間	年限	
		第一年	第二年
英語	七	級字、誦讀、譯解、習字	誦讀、習字、譯解、會話
簿記	四	總論、和文記帳	和文記帳
數學	五	珠算、筆算	同上
習字	四	楷書、行書	行書、草書
商業作文	二	往復文	同上
讀書	四	講讀	同上
商業	三	同上	同上
合計	三〇		

科目	週數	內容
體操	二	普通體操
商業要項	二	郵便、電信、送金、運送ノ類
合計	三〇	
體操	二	同上
商業要項	二	賣買、貸借、金融、保險ノ類
合計	三〇	

第四號表

豫科入學試業科目

讀書 { 外史學要 卷ノ四
 松田好生著 商業書 全
 作文 往復文
 數學 珠算 (四則雜題) (加減乘除)

英語

誦讀 (ナシユナル第二讀本初メヨリ)
譯解 (ナシユナル第二讀本半ハマテ)
綴字 (ナシユナル第二讀本終迄)
習字

習字 三體

第五號表

簡易科第一年入學試業課目

讀書 島崎友輔著 初等讀本 全部

作文 口上書類

習字 楷書 行書

數學 算術 (加減乘除)

公示第五十七號 四月 南桑田郡一般

南桑田郡龜岡町字新町十八番戶寄留

藥劑師 山本清吉

右之者へ藥用阿片賣買特許ノ處廢業ノ旨届出タリ

公示第五十八號 四月 九日

府下紀伊郡堀内村特別稅條例ニヨリ地所建物ノ買得又ハ讓受セシモノニ賦課スル村稅ハ直接稅トス

公示第六十七號 四月 十二日

静岡縣及青森縣ヨリ鑛山試堀採堀出願ニ關スル届出方別紙ノ通縣令發布シタル旨通知アリタリ

(別紙)

縣令第二十一號

明治二十五年三月農商務省令第六號鑛業條例施行細則第七

條及明治二十六年^三同省令第八號砂鑛採取法施行細則第三條ニ依リ當廳へ差出スヘキ書類ハ總テ其出願地町村役場ヲ經テ差出スヘシ
但出願地ノ區域ニ町村以上ニ涉ルモノハ其重ナル町村役場へ差出スヘシ

明治二十七年四月三日

静岡縣知事小松原英太郎

縣令第十五號

鑛業條例施行細則及砂鑛採取法施行細則ニヨリ當廳へ届出ヘキ書類ハ其出願地所轄ノ町村役場及郡市役所ヲ經テ差出スヘシ

明治二十七年四月六日

青森縣知事佐和正

公示第七十五號

四月廿八日

熊本縣ヨリ鑛業條例施行細則及砂鑛採取法施行細則ニヨリ届出ヘキ書類差出方別紙之通縣令發布シタル旨通知アリタリ

(別紙)

縣令第二十九號

鑛業條例施行細則及砂鑛採取法施行細則ニ依リ當廳へ届出ヘキ書類ハ其出願地所轄ノ町村役場及郡役所ヲ經テ差出スヘシ

明治二十七年四月二十二日

熊本縣知事松平正直

公示第七十八號

五月八日

當府松原警察署本月七日京都市下京區松原通建仁寺町東へ入弓矢町ニ移轉セリ

公示第八十四號 五月廿四日

四百十六

今般新潟縣ニ於テ蠶種取締規則別紙ノ通發布ノ旨通知アリ
リタリ

別紙

縣令第三十三號

蠶種取締規則左ノ通り相定メ本年六月一日ヨリ施行ス

但シ明治二十年一月縣令甲第五號同年九月告示第百八十二

號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

明治二十七年五月十六日

新潟縣知事籠手田安定

蠶種取締規則

第一條 蠶種ヲ製造シ若クハ賣買セントスルモノハ總テ

此規則ニ遵フヘシ

第二條 蠶種製造ヲ業トシ又ハ蠶種ヲ販賣セント欲スル

者ハ蠶絲業組合組長ノ連署ヲ以テ郡市役所ヲ經縣廳ヘ

願出鑑札ヲ受クヘシ

鑑札ハ製造鑑札販賣鑑札ノ二種ニ區別ス販賣者ニシテ

行商ノ爲メ外出スルトモハ鑑札ヲ携帯スヘシ

第三條 蠶種ハ總テ縣廳ノ検査ヲ受クヘシ其検査證印ナ

キモノ又ハ不合格ノ證印アル蠶種ハ賣買又ハ飼育スル

ヲ得ス

他府縣産ノ蠶種ト雖トモ本縣管内ニ於テ賣買スル者ハ

縣廳ノ検査ヲ受クヘシ

第四條 蠶種ヲ製造スル者ハ各原種ノ掃立蛾數並ニ製造

見込額ヲ豫定シ自家用ト販賣用トヲ區別シ其年三月三

四百十七

十一日迄ニ蠶絲業組合事務所ヲ經テ縣廳ニ届出ヘシ

第五條 蠶種検査所ハ縣廳内ニ之ヲ設ケ管内樞要ノ地ニ支所ヲ置ク支所ノ位置ハ其時々告示スヘシ

但シ地方ノ狀況ニヨリ巡回検査ヲ爲スコトアルヘシ

第六條 蠶種検査支所ハ九月一日ニ開キ十一月三十日之ヲ閉ツ

但シ製糸用蠶種検査ハ九月一日ヨリ原種用蠶種検査

ハ十月一日ヨリ施行ス蠶種ハ各閉所期日前二十日迄

ニ検査支所ニ差出スヘシ

第七條 販賣用蠶種ノ製造ハ蠶兒ノ掃立ヨリ收購ニ至ル

マテ蠶種検査員ヲシテ時々監査ヲ爲サシムヘシ

監査ヲ經スシテ飼育セシ收購ハ蠶種ヲ製造シ又ハ原繭

トシテ賣買スルヲ得ス

同巧繭、變形繭、薄繭汚繭ハ原繭ト爲スコトヲ得ス

第八條 蠶種ノ製造ハ框製普通製ノ二種トシ原種ハ總テ

框製ニ限ル

蠶種原紙ノ表面ニ春夏秋ノ種別及小石丸、又昔等ノ名稱

ヲ記シ裏面ニ製造人ノ住所氏名又ハ會社組合等ノ名稱

ヲ記シタル印章ヲ押捺シ原種用ト製糸用種トヲ區別ス

ヘシ

第九條 框製蠶種ニハ其産卵ノ符合ヲ明瞭ニ記シタル母

蛾ヲ添付スヘシ之ヲ添付セサルモノハ普通製ノ例ニヨ

リ検査ス

第十條 蠶種ノ検査ハ肉眼鑑定、顯微鏡視察ノ二法トシ顯

微鏡視察ハ左ノ規定ニ據リ施行シ肉眼鑑定ノ法ハ追テ相定ム

一 框製蠶種ノ母蛾無毒ノモノニシテ原種用種ハ原種用ノ證印ヲ製系用種ハ無毒ノ證印ヲ病毒アルモノハ廢棄ノ證印ヲ其框内ニ押捺シ其裏面ニ檢査證印ヲ押捺ス

一 普通製蠶種ハ有毒百分ノ九以下ノモノニ製系用檢査證印及歩合ヲ記入シタル印章ヲ押捺シ其以上ノモノニハ不合格ノ證印ヲ押捺ス

第十一條 第八條第二項ノ規定ニ據ラスシテ製造シタル蠶種ニハ檢査ヲ與ヘス

第十二條 一枚ノ蠶種ヲ截斷シテ販賣セント欲スル者ハ

豫メ裏面ニ截斷スヘキ區畫ノ線ヲ付シ差出スヘシ

截斷スヘキ蠶種ニアラサルモノヲ截斷シテ賣買讓與又譲受スルコトヲ得ス

第十三條 蠶種製造ヲ業トシ又ハ蠶種ヲ販賣スルモノ其業ヲ廢スルカ他ノ管轄地ニ寄留又ハ轉籍シタルトキハ蠶絲業組合事務所並ニ郡市役所ヲ經テ其旨ヲ縣廳ニ届出鑑札ヲ返納スヘシ

第十四條 本則第二條第三條第七條第二項及第十二條第二項ニ違フモノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 蠶種檢査證印ヲ定ムル左ノ如シ
原種用檢査證印 圓形徑一寸五分 朱文字

(新潟縣原種用檢査ノ證)

製糸用種検査證印 橢圓形縦一寸八分 横一寸 朱文字

(新潟縣製糸用種検査ノ證)

歩合證印 長方形縦一寸五分 横一寸二分 朱文字

(病毒百分 分新潟縣)

不合格證印 橢圓形縦一寸八分 横一寸 黒文字

(新潟縣検査不合格ノ證)

框製證印

原種用證 圓形徑三分 朱文字(原種用證)

無毒證 圓形徑三分 朱文字(無毒證)

廢棄證 長方形長三分 中二分 黒文字(廢棄證)

附 則

本則第四條ノ届出ハ本年ニ限り六月十五日迄トシ第七條

ハ當分其施行ヲ延期ス

公示第八十九號 六月 一日

德島縣ニ於テ砂鑛採取ニ關スル書類取扱方ニ付別紙之通

縣令發布相成候旨通知アリタリ

別紙

德島縣令第二十三號

明治二十六年農商務省令第八號砂鑛採取法施行細則第三條ニ該當スル書類ハ鑛物所在地ノ市役所又ハ町村役場ヲ經進達スヘシ

本令ハ明治二十七年六月一日ヨリ施行ス

明治二十七年五月二十六日

德島縣知事村上義雄

公示第九十號 六月 一日

本府醫學校規則中左之通改正ス

一 第一條中「二十五年以下」ノ六字ヲ削除ス

一 第五條ヲ左之通改ム

第五條 依願退學及除名セラレタルモノニシテ原級以下ニ再入學ヲ請フモノハ許可スルコトアルヘシ

一 第十一條第二款第三項ヲ獨逸語學ト改メ元第三項ヲ第四項ト改ム

一 第十二條及第十三條ヲ左之通改ム

第十二條 凡テ不都合ノ行爲アリト認定セシモノハ放校ニ處ス

第十三條 凡テ不都合ノ行爲アリト認定セシモノハ放校ニ處ス

但本府明治二十七年二月丙第二十二號第三項ニヨリ放校ニ處セラレタル者ハ文部大臣ニ由リ情狀ヲ

ナ酌量シテ特免ヲ予ヘラル、ノ外復校ヲ許サス

第十三條 左ノ各項ニ當ルモノハ除名スルコトアルヘシ

第一 授業料ヲ納メサルモノ

第二 第三章試業則第二十七條ニ悖戻セシモノ

第三 第三章試業則第四十二條後項ノ試業ヲ受ケ落第セシモノ

同第四十四條ノ再試業ヲ受ケ尙及第スル能ハサルモノ

一元第十三條ヲ第十四條ト改メ以下三十三條迄順次條數ヲ繰下シ

一 第十六條但書中第十二條第二項トアルヲ第十三條第一項ト改ム

一 第三十四條ヲ削除ス

一 第四十五條證狀ヲ左ノ通改ム

四百二十六

卒業證



府縣族籍

何

某

生年月

右者京都府醫學校成規ノ學科ヲ修メ卒業試業ヲ
卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

解剖學	局所解剖學	組織學	生理學	裁判醫學	教諭(學位)姓	名印
同	同	同	同	同	同	同

外科論理及實驗	眼科論理及實驗	藥物學	衛生學	內科論理及實驗	婦人科産科論理及實驗
同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同

年月日 京都府醫學校長學位姓名印

公示第九十三號 五月六日

栃木縣蠶種取締規則改正及蠶種検査所位置規程等別紙之
通同縣ヨリ通知アリタリ

四百二十七

(別紙)

栃木縣令第七十二號

明治二十七年五月二十七日
栃木縣令第二十二號蠶種取締規則左ノ通
改正ス

明治二十七年五月二十七日

栃木縣知事佐藤 暢

蠶種取締規則

- 第一條 此規則ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種用種及製絲用種ニシテ越年セシムルモノヲ謂フ
- 第二條 蠶種製造者ハ餘付ヲ爲シ又ハ左ニ掲クル繭及蛾ヲ製造ノ用ニ供スヘカラス
- 一 製絲用ノ目的ニテ飼養シタル繭
- 一 各種固有ノ形体ヲ失ヒ大小不同ノ繭

一同功繭

一薄皮繭

一汚繭

一縮翅壳毛シタル蛾

第三條 蠶種ハ框製普通製ノ二種トシ原種用種ハ框製ニ限ル

第四條 蠶種ニハ其原紙ノ表面ニ春夏秋冬ノ種別及小石丸

又昔等ノ種類ヲ記入シ裏面ニ製造者ノ住所氏名ヲ記シタル印章ヲ押捺スヘシ

第五條 蠶種ハ此規則ニ據リ検査ヲ受ケ検査證印ヲ得タ

ルモノニアラサレハ本縣内ニ於テ賣買授受又ハ飼養スルコトヲ得ス

第六條 蠶種ノ検査ハ出願ノ順序ニ依ル

第七條 原種用種ハ親蛾ヲ検査シ無毒ナルモノヲ合格トス但親蛾ヲ添付セサルモノハ製絲用種トシテ検査ス製絲用種ハ微粒子毒百分ノ五ヲ超過セサルモノヲ合格トス

第八條 蠶種ニシテ第三條第四條ノ規定ニ違フモノハ検査ヲ與ヘス

第九條 合格ノ蠶種ニハ検査證印ヲ不合格ノ蠶種ニハ廢棄證印ヲ押捺ス

但原種用種ニ限リ一蛾毎ニ原種用製絲用又ハ廢棄ノ證印ヲ押捺ス

第十條 蠶種検査證印ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 蠶種ノ裏面ニ押捺スルモノ

橢圓形 縱一寸五分
横八分 文字

栃木縣蠶種検査所検査之證

長方形 縱一寸四分
横七分 文字 廢棄之證

二 原種用種框製一蛾毎ニ押捺スルモノ

圓形徑 三分 文字 原種用

圓形徑 三分 文字 製絲用

長方形 長三分
中二分 文字 廢棄

第十一條 第二條第五條ニ違フモノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第十二條 明治二十年三月栃木縣令第三十一號蠶種検査規

程ヲ廢止ス

告示第四百四十二號

第一條 蠶種検査所ハ左ノ二箇所ニ設置ス

河内郡 宇都宮町

下都賀郡 栃木町

第二條 蠶種ノ検査ハ毎年九月十五日ニ始シ十一月三十日ニ終ハルモノトス

第三條 蠶種ノ検査ヲ請ハント欲スルモノハ左ノ書式ノ

願書ヲ蠶種ニ添ヘ本人又ハ代人検査所ニ差出スヘシ但

原用種ニハ親蛾ヲ添付スヘシ

(書式)

種別	種類	名稱	製造區別	數量
原用種製絲用種ノ別	春夏秋ノ別	小石丸又昔等ノ名稱	框製普通製ノ別	枚數

右検査ノ上御下渡相成度候也

府縣郡市町村大字番地

年月日

氏

名印

栃木縣蠶種検査所宛

明治二十七年五月二十七日

栃木縣知事佐藤 暢

公示第九十四號

六月 日

宮崎縣ニ於テ鑛業條例施行細則第七條ニヨリ届出ニ對シ

別紙之通縣令發布相成候旨通知アリタリ
(別紙)

宮崎縣令第十五號 明治二十七年三月十一日

明治二十五年農商務省令第六號鑛業條例施行細則第七條ノ届出ヲ差出シタルモノニシテ本年三月以降許可ヲ得タルモノハ其書類到達ヨリ七日以内ニ其旨鑛山所在地郡役所ヲ經由届出ツヘシ但出願寫書類ニ異動ヲ生シタルトキハ届書ニ該寫書ヲ添付スヘシ

宮崎縣令第四十號 明治二十七年五月二十九日

明治二十七年三月宮崎縣令第十五號中許可ノ下ヘ「若クハ無効ノ通知」ノ八字及得ノ下ヘ「又ハ却下セラレ」ノ七字ヲ挿入追加ス但本年三月以降既ニ該處分ヲ受ケタルモノハ此際

直ニ届出ツヘシ

公示第九十五號 八月六日

今般小學校教員免許狀ヲ授與シ候補者名簿ニ登録セシモノ左ノ如シ

- | | | | |
|---|----------|-------|--------|
| 同 | 小學校本科正教員 | 鳥取縣士族 | 上島常藏 |
| 同 | | 大阪府平民 | 西岡景真 |
| 同 | | 京都府士族 | 秋田コウ |
| 同 | | 京都府平民 | 田守キミ |
| 同 | | 京都府士族 | 中島鏑三郎 |
| 同 | | 大阪府平民 | 山大路千鶴枝 |
| 同 | | 京都府士族 | 吉田五郎 |
| 同 | | 京都府平民 | 法貴慶次郎 |

同	京都府士族	林	ブ	ン
同	京都府士族	東	マ	ス
同	京都府平民	藤	ア	イ
同	京都府士族	野	田	貞二郎
同	京都府平民	市	原	長久
同	京都府平民	桂	定	次郎
同	和歌山縣平民	山	口	巖
同	兵庫縣平民	藤	戸	徳三郎
同	鳥取縣士族	大	庭	哲郎
同	京都府平民	泉	雄	次郎
同	兵庫縣平民	藤	林	シツ
同	京都府士族	今	村	エ
同	京都府士族	今	村	エ

小學校專科正教員

同

小學校本科准教員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

尋常小學校本科正教員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

京都府平民	小山	ヨシ	枝		
京都府平民	曾	谷	淺	枝	
兵庫縣平民	藤	井	芳	之助	
京都府平民	磯	部	房	吉	
京都府平民	鳥	居	小	一郎	
京都府平民	河	原	林	品	吉
京都府平民	上	野	弘	一	
滋賀縣士族	藤	田	竹	一	郎
鳥取縣士族	田	中	熊	太	
愛媛縣平民	武	田	鬼	十	郎
兵庫縣平民	山	田	芳	三	
京都府平民	山	本	謙	十	郎

尋常小學校本科准教員

京都府士族 小野田 豐藏

同

京都府士族 木俣文三郎

同

大分縣平民 矢野 深

公示第九十六號 十一月十一日

京都市疏水分線路ヨリ分水スル事業ノ爲メ愛宕郡田中村
宇古川字大久保字畑ケ田ノ内字四十八ノ内字西浦ノ内字
玄京ノ内字野神ノ内字飛鳥井ノ内字大溝ノ内字流ノ田ノ
内字京道ノ内字里前ノ内字上番ノ内字北高原ノ内字南高
原ノ内字堂ノ後ノ内字車田ノ内字馬ノ神ノ内字開田ノ内
字區域トシ普通水利組合ヲ設ケ田中村長ヲ以テ管理者ト
定ム

公示第百四號 六月廿二日

清國廣東及香港地方ニ於テ流行スル黒死病「ペスト」ハ最モ
猛烈ナル傳染病ニシテ既ニ長崎入港ノ米國船航海中ニ於
テ一名ノ該病死者アリタルニ付テハ何時其侵入ヲ蒙ルモ
難測ニ付此際一層清潔法ヲ嚴行シ各自ノ攝生ヲ慎ミ萬一
疑ハシキ患者ヲ發生シタルトキハ速ニ醫師ヲ招キ診察セ
シメ患者又ハ家族ヲ隔離スル等總テ虎列刺及發疹室扶斯
ノ消毒豫防法ヲ適用シ勉メテ患者發生ノ初ニ當リ敏速其
處置ヲ課ラサル様注意スヘシ

(參看本年訓令第四十七號)

公示第百六號 三月十日

他人ノ採掘セル鑽石ヲ買入レ製煉スル者又ハ砂鑽石製煉
スル者ハ左ノ條項ニ準據スヘシ

注意

金銀ハ匁、錫ハ斤、鑛石及鐵ハ貫ヲ單位トス
自己ノ採取セル砂鑛ヲ製煉スル場合ニ於テモ買入レタルモノト同一ニ買入高ノ
欄ニ記入スヘシ
製出高ハ其品類ニ依リ各別ニ記入スヘシ

公示第百十號 二七 日

官除
許並散
けしらみうせ薬

右大阪市東區南久太郎町一丁目吉田百齊堂製劑ニ係ル規
則外賣藥ハ劇藥ヲ配伍セルヲ以テ當府下ニ於テ其販賣ヲ
禁ス

公示第百十八號 十二 日

本年^七海軍省令第八號海軍臨時召集旅費支出規程第二條
ノ旅費支給所ハ各郡ニ在テハ郡役所京都市ニ在テハ京都

收稅署ト相定ム

公示第百十九號 十七 日

讚岐國多度郡多度津港ニ係ル入港錢取立規則中内務大臣
ノ許可ヲ受ケ其第三項ヲ削リ左ノ通更正候旨該縣ヨリ通
知アリタリ

一五十石以上百五十石未滿	十石ニ付	金八厘
一百五十石以上三百石未滿	同	金六厘
一三百石以上六百石未滿	同	金四厘六毛
一六百石以上	同	金三厘

公示第百二十五號 廿三 日

町村制第四條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ船井郡本莊村
富莊村ヲ合併シ富本村ト名稱ス

公示第百二十八號 廿七日

今般大阪大林區署大阪市東區京橋前之町衛戍病院四元陸軍省教師館跡へ移轉本月二十一日ヨリ同所ニ於テ事務取扱候旨通知アリマ

公示第百二十三號 三日月

勅令第百三十四號ニ依リ許可ヲ受クヘキ草稿ハ當府下丹後國與謝郡ニ於テハ宮津警察署ニ届出ツヘシ

公示第百二十八號 八月十三日

乙訓郡大山崎村字下植野地内小畑川流末伏込樋及其惡水井路ニ係ル事業ノ爲メ乙訓郡新神足村字勝龍寺地内小畑川以東字神足ノ内元神足地内小畑川以東元古市久我畷以東及淀村字樋爪地内字水垂地内各桂川以西字下津地内淀

川以北ヲ以テ區域トシ普通水利組合ヲ設ケ新神足村長ヲ以テ管理者ト定ム

公示第百四十號 廿一日

京都府京都市及紀伊郡向島村特別稅條例ニヨリ土地建物買得者讓受者并紀伊郡下鳥羽村特別稅條例ニヨリ土地建物買得者ニ賦課スル村稅ハ直接稅トス

公示第百四十四號 廿七日

茨城縣ニ於テ製絲用蠶種檢査施行手續中左記ノ通改正ノ旨通知アリタリ

茨城縣令第三十一號

明治二十六年六月三十日縣令第十八號製絲用蠶種檢査施行手續第二條中蠶種病毒ノ歩合ハ百分ノ下「十五」トアルヲ

「十」ト改正ス

四百四十八

明治二十七年七月十六日

茨城縣知事高崎親章

公示第四百七十七號

八月一日

福知山區裁判所管内町村

福知山區裁判所管内受持公證人ノ儀來ル九月一日ヨリ左ノ場所ニ於テ事務取扱フ旨其筋ヨリ通知アリタリ

天田郡福知山町字菱屋五十七番戸

公證人 中島 幸保

公示第五百五十四號

九月十五日

今般小學校教員免許狀ヲ授與シ候補者名籍ニ登録セシメノ左ノ如シ

小學校本科正教員

同

京都府平民 川崎 辰藏
京都府平民 内藤 直次郎

同

京都府士族 清水 康五郎

同

京都府平民 小笹 國雄

同

京都府士族 菅谷 直哉

同

京都府平民 鎌田 伊二

同

京都府平民 田村 作太郎

同

京都府士族 川崎 正三郎

同

京都府士族 狩野 力太郎

同

京都府士族 谷村 久江

同

京都府士族 岩崎 テル

同

京都府士族 島田 千嶺

同

佐賀縣平民 藤尾 垂味

同

高知縣平民 猿田 大仙

四百四十九

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族	秋保知次
長崎縣士族	桂木五十太郎
京都府平民	湯淺末太郎
大阪府平民	淺井得二郎
島根縣平民	河瀬房次郎
京都府士族	田口三三
京都府士族	鹽田六作
京都府平民	千賀ト三
京都府士族	河合ナツ
京都府平民	中谷米次郎
京都府平民	福田竹次郎
京都府平民	長村キス

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

和歌山縣士族	江川龜松
和歌山縣平民	坂口織之助
京都府士族	岩内誠一
京都府平民	中西良藏
京都府士族	上田國若
京都府士族	田中タユ
大分縣士族	平井通久
埼玉縣士族	坂本八郎
大分縣士族	志賀庄司
京都府士族	金原辰三
京都府士族	寛七五三
京都府士族	原秀太郎

同 京都府士族 南部榮太郎

小學校專科正教員 京都府平民 富森 幸三

同 京都府平民 三谷 カ十

同 京都府士族 井上 タカ

同 京都府平民 柏木 フカ

小學校專科准教員 京都府平民 岡本 ミカ

尋常小學校本科正教員 京都府平民 東浦 龍

同 京都府士族 松田 壽若

同 京都府平民 細見 三郎

同 京都府士族 安藤 益興

同 京都府士族 岡本 季豐

同 京都府平民 朝田 愛之助

同 京都府士族 北小路 俊啓

同 愛知縣平民 加藤 貞次郎

同 京都府平民 古谷 藤太郎

同 京都府平民 初田 嘉市

同 京都府平民 植村 林次郎

同 京都府平民 友田 重太郎

同 京都府平民 小石 良輔

同 京都府平民 北林 ツ子

同 京都府平民 高橋 大太郎

同 京都府平民 橋本 寅吉

同 京都府士族 大野 幸吉

同 京都府平民 石倉 久造

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族 今大路 孝治
 京都府平民 伊佐爲次郎
 和歌山縣平民 北原善四郎
 京都府士族 大西二郎
 京都府平民 水上信太郎
 京都府士族 畠中喜多男
 鳥取縣士族 白田早造
 京都府平民 藤村憲三
 京都府平民 大槻福藏
 京都府士族 澤野井長三郎
 滋賀縣平民 治田觀教
 京都府平民 倉垣仙之助

四百五十四

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族 坂根益吉
 京都府平民 平田淺次郎
 京都府士族 藤田金六
 京都府士族 杉山米二郎
 京都府士族 坂根勝太郎
 京都府平民 鹽内源吉
 京都府平民 森川ヨマ
 京都府平民 松井好躬
 京都府平民 島村富藏
 京都府平民 堀井候次郎
 京都府平民 梅原重雄
 京都府士族 南重太郎

四百五十五

同	京都府士族	坂倉十一郎
同	京都府士族	保坂敬三
同	京都府士族	和歌野將興
同	京都府平民	照岡正巳
同	岐阜縣士族	加納シゲ
同	滋賀縣平民	長尾銀藏
同	三重縣平民	西山次郎
同	兵庫縣士族	足立潛
同	大分縣平民	別木雅彦
同	京都府士族	山田久五郎

公示第五百五十九號 十九日

本府大谷尋常中學校ハ本月十八日限り之ヲ廢止ス

公示第六十號 廿一日

府下紀伊郡伏見町及ヒ深草村特別稅條例ニ依リ土地建物
買得者讓受者ニ賦課スル町村稅ハ直接稅トス

公示第六十七號 廿六日

加佐郡四所村大字新宮ヲ廢シ同村大字喜多及ヒ同下福井
ニ分屬シ舊新宮内小字悉皆ハ新宮ト改稱ス

公示第七十二號 十二日

町村制第四條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ府下丹後國與
謝郡市場村ノ内大字岩屋ヲ分割シ岩屋村ヲ設置ス

公示第七十三號 十三日

第六區衆議院議員ノ再撰舉ヲ行ハシメシ處稻葉市郎右衛
門當撰ス

公示第七十五號 十一月十五日

府下葛野郡桂村特別稅條例ニヨリ土地買得又ハ讓與ナラシタル者及紀伊郡竹田村特別稅條例ニヨリ土地建物買得又ハ讓受ナラシタル者ニ賦課スル村稅ハ直接稅トス

公示第八十九號 十一月十一日

明治二十八年春期內務省又ハ當府ノ產婆試驗ヲ受ケントスル者ハ同年一月十五日迄ニ願書ヲ差出スヘシ

公示第九十三號 十一月十六日

今般小學校教員免許狀ヲ授與シ候補者名籍ニ登錄セシモノ左ノ如シ

- 同 小學校本科正教員 德島縣平民 藤田源之助
- 同 京都府平民 荻野國藏

- 同 小學校本科准教員 京都府平民 前田喜三次

- 同 京都府士族 横地ヤツ

- 同 京都府士族 江坂正清

- 同 京都府平民 片山幸吉

- 同 京都府士族 加納シゲ

- 同 京都府平民 岩崎藤次郎

- 同 小學校專科正教員 京都府士族 岡本フク

- 同 京都府士族 兒玉福松

- 同 京都府士族 山田フサ

- 同 京都府平民 高田宇太郎

- 同 鳥取縣士族 岡ハル

- 同 小學校專科准教員 京都府平民 松山スエ

同 同

京都府士族 中村 シゲ
廣島縣平民 瀧原 タセ
京都府士族 渡部 テフ
奈良縣士族 清水 カタ
岡山縣平民 石井 富
京都府平民 田中 孝
京都府平民 上村 増野
京都府士族 吉田 遊賀
京都府平民 村山 ハル
京都府平民 千家 ミチ子
京都府平民 土肥 房吉
京都府平民 國分 國三郎

尋常小學校本科正教員

同 同

京都府平民 植松 又次
奈良縣士族 野間 五郎
京都府平民 三谷 總之助
京都府平民 井上 幸之助
京都府士族 中村 義孝
京都府士族 田中 清一
鳥取縣士族 日比 岩太郎
鳥取縣士族 初鹿 野壽
京都府平民 酒井 松輔
京都府平民 今西 榮次郎
京都府平民 牧 一
京都府士族 望月 勉

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族	滋岡音三郎
京都府士族	鈴木種三郎
京都府士族	森正言
福井縣士族	鳩原海充郎
鳥取縣士族	二宮龜四郎
岡山縣士族	堀英生
京都府平民	山口嘉壽彦
京都府士族	世續一
京都府平民	西村由太郎
岡山縣平民	淺野真三郎
三重縣平民	田中虎一
京都府士族	長野位列

四百六十四

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府平民	赤松音吉
京都府平民	足立卯之助
京都府士族	石井在知
京都府平民	照岡正巳
京都府士族	木田亮苗
京都府平民	黒川百壽
奈良縣士族	福貴祥三郎
京都府士族	瀧川直一
京都府平民	團野卯之助
京都府平民	團野辰治郎
滋賀縣平民	石田虎次郎
廣島縣平民	富島連城

四百六十五

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

兵庫縣平民	近藤常吉
京都府士族	東相一
京都府士族	松室保千代
鳥取縣士族	入江敦武
京都府士族	戶田保憲
京都府士族	蔣池季智
京都府士族	中大路季介
京都府士族	藤木亮直
京都府士族	饗庭貞太郎
京都府平民	河野廣吉
京都府士族	夏目左直
京都府平民	藤城秀之助

四百六十六

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族	岡茂之
京都府士族	田邊夕寺
京都府平民	八幡時源
京都府士族	村田義永
京都府士族	平館十三磨
京都府平民	池上教善
京都府平民	村上宗弘
奈良縣士族	武井金治
京都府平民	山本定次郎
京都府平民	村上丈之助
京都府士族	仲尾皆之助
京都府平民	喜多辰造

四百六十七

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府平民	湯口林之輔
京都府平民	藤本甚吉
京都府平民	太下由太郎
京都府平民	大石敬雄
京都府平民	川勝清之助
京都府平民	松本菊太郎
京都府平民	大石泰治郎
京都府平民	松本石之助
京都府平民	岡本純之助
京都府士族	小濱定澄
京都府士族	德田休太郎
京都府平民	菅原威譽

四百六十八

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府平民	山西長藏
京都府平民	大岡玄龍
京都府平民	細谷八之助
京都府平民	余田瀧藏
京都府士族	武内規
京都府平民	山室治三郎
京都府士族	田中茂次藏
京都府士族	向井久斐
京都府平民	福本久吉
京都府平民	松本豐吉
京都府平民	竹内金藏
熊本縣士族	島田孝次

四百六十九

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

四百七十

京都府平民	奧	丑之助
京都府平民	宮崎	岩藏
京都府平民	小中	松右衛門
京都府平民	河野	美之助
京都府平民	今西	義春
京都府士族	高木	鍵吉
京都府士族	伊藤	重正
京都府平民	日下部	孝寬
京都府平民	坂口	種治郎
京都府平民	西村	廣藏
京都府平民	田中	武三
京都府平民	小路	熊吉

尋常小學校本科准教員

京都府士族

星野

巖

公示第九十五號 十一月十九日

德島縣ニ於テ別紙水産取締規則ヲ制定シタル旨通知ナリ

德島縣令第五十五號

本縣水産取締規則左ノ通り相定ム

明治二十七年十月二十五日

德島縣知事村上義雄

水産取締規則

第一章

通則

第一條 此規則ハ縣ノ内外人ヲ問ハス本縣管轄内ニ於テ水産動植物ヲ捕採スル者ニ適用ス

第二條 此規則ニ於テ漁業ト稱スルハ水産動植物ヲ捕採

スル業ヲ謂ヒ漁業者トハ其職業ニ従事スル者ヲ謂フ

第三條 漁業者ハ此規則ニ依リ組合ヲ設置シ其規約ヲ締結シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 漁業者僅少ニシテ其漁場他ニ關係セス漁業組合ヲ設置シ難キ事情アルモノハ知事ノ認可ヲ受ク其組合ヲ設置セサルコトヲ得

但此場合ニ於テハ漁業者惣代ヲ選定スヘシ

第五條 漁業組合設置ノ地區内ニ現任スル漁業者ハ其地組合ニ加入スヘシ

第六條 漁業者ニシテ他ノ組合設置ノ漁場内ニ於テ漁業ニ従事セントスルトキハ當該組合ノ承諾書又ハ其承諾ヲテ理由書ヲ添ヘ漁場所轄郡長ノ認可ヲ受ク其二郡以

上ニ渉ルモノハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

但從來入會ノ慣行アルモノハ此限ニラス

第七條 公益上必要アリト認ムルトキハ知事ハ漁業組合ノ分立合併者クハ解散ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 漁業場ノ境界及漁業ノ方法等ハ特ニ規定アルモノ、外ハ從來ノ慣行ニ依ルヘシ

第九條 慣行ナキ漁業ヲ起シ又ハ新タニ漁場ヲ發見シ或ハ養殖場ヲ設置シ若クハ從來使用セサル漁具〔局部ノ改造ト雖モ著シク改良ナシテスルモノ〕ヲ以テ營業セントスル者ハ其關係町村漁業組合〔組合ナキ地ハ漁業者惣代以下之ニ依フ〕ニ於テ支障ナキ保證書ヲ得又ハ其保證ナキ

理由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 潜水器漁業又ハ捕鯨業ニ従事セントスル者ハ其

關係町村漁業組合ノ承諾書又ハ其承諾ナキ理由書及該營業場ノ區域並ニ營業ノ期間、季節、器具ノ個數(捕鯨具ハ名稱トモ)、捕採物ノ種類ヲ詳記セル書面ヲ添へ漁場所轄郡長ノ認可ヲ受ケ其二郡以上ニ渉ルモノハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 公益ノ爲メ水産ノ養殖漁撈又ハ製造ニ關シテ試験若クハ傳習等ヲ施サントスルモノハ其期間、季節、位置、區域、方法ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 水産事業ニ關シ認可ヲ與ヘタル後ト雖トモ公益ニ害アリト認ムルトキハ其區域、期間、季節、方法等ヲ制限シ又ハ其施行ヲ停止シ若クハ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第二章 禁止制限

第十三條 漁具、漁法並ニ捕採ニ關スル禁止制限ノ事項左

ノ如シ

第一項 漁具

一 ミナト、口網、イクリ網、鯛ゴチ網、^{カヌ}網、^ヒダテ網

二 打タ瀬網、漏斗網、手操網、藻引網ノ網目五寸ニ付二十

節以上ニ至ルモノ

第二項 漁法

石灰、火藥、ダイマナト、山椒、胡桃、秦椒、蓼、煙草、馬酔木、苦

木柿澁、苦鹽等水族ノ蕃殖ヲ害スヘキ物質

二 建切リ又ハ堰干等ト稱シ、簀具或ハ網具ノ類ヲ以テ

水面ヲ遮斷シ干水ニ乗シ漁撈スル装置

三 堤防、川除、及根石据場所ニ於テ築石、捨石、土砂、ヲ崩壞
毀損スル装置

四 罾、タ、キ、又ハト、ソ、ブ、リ、若クハカリホウ、機、ガリ、ト、稱
スル罾建網ノ装置

第三項 種類

(一) 海酸漿 海藤華 馬尾藻

(二) 眞珠貝 貝面徑一寸五分以下

(三) 海扇貝 貝面徑一寸五分以下

(四) 海鼠 形体豎長四寸以下

(五) 鮑 形体豎長三寸以下

第十四條 左ノ水産動植物ハ、毎項掲グル所ノ期間其捕採
ヲ禁止ス

第一項 鮎 兒 毎年一月一日ヨリ四月三十日マテ

第二項 鱒 兒 毎年三月一日ヨリ六月三十日マテ

第三項 鰻 兒 毎年一月一日ヨリ四月三十日マテ

第四項 鮠 魚 毎年十月一日ヨリ十二月三十一日マ
テ

第五項 蛤 毎年五月一日ヨリ十一月三十日マテ

第六項 眞珠貝 毎年四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第七項 海扇貝 毎年三月一日ヨリ七月三十一日マテ

第八項 海鼠 毎年五月一日ヨリ十月三十一日マテ

第九項 鮑 毎年十月一日ヨリ翌年一月三十一日
マテ

第十項 石花菜 毎年九月一日ヨリ翌年三月三十一日
マテ

第十一項 搗布 毎年一月一日ヨリ七月三十一日マテ
及十月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第十五條 第十三條第三項ニ屬スルモノ及第十四條捕採
禁止期間ノ當該水産物ハ販賣ヲ許サス

但風浪其他地變ノ爲メ漂着シタル石花菜、搗布、馬尾藻
ヲ拾ヒ取リ當該漁業組合ノ承認ヲ經タルモノハ此限
ニアラス

第十六條 板野郡吉野川筋ノ内左記ノ個所ニ於テ毎項掲
クル所ノ漁事ヲ禁止ス

第一項 吉野川派流別宮川筋ノ内板野郡應神村大字古
川村標木ト名東郡加茂村大字上助任村鳥ヶ森標木見

通シヨリ別宮川口板野郡川内村大字小松新田村ト名
東郡沖州村大字沖州浦村標木見通シノ間ニ於テ大網
漁ヲナスコト

第二項 同上川筋ノ内板野郡川内村大字金岡新田村荒
神社前新波止場標木ヨリ直線川向ヒ徳島市大字下助
任村象王權現ノ森見通シ標木以東、川内村大字鶴島浦
村荒神社前字荒神ノエヨ標木ヨリ直線川向ヒ同村大
字別宮浦村蛭子北東角見通シ標木以西ノ間ニ於テ諸
網漁ヲナスコト

第三項 同上川筋ノ前項諸網漁禁止ノ個所ニ於テ毎年
四月十五日ヨリ十一月十日マテ掛漁ヲナスコト

第四項 吉野川筋ノ内板野郡大津村大字矢倉野村字水

神角標木ヨリ大字同村字西間標木通見シヨリ同郡同
村大字徳永村字愛座標木ヨリ大字同村字東ノ越標木
通見シマテノ間ニ於テ毎年十月一日ヨリ翌年四月三
十日マテ諸網漁ヲナスコト

第十七條 遊樂若クハ自用ノ爲メ魚介藻ヲ捕採スルモノ
ハ左ノ事項ニ違背ス可ラス

第一項 使用ノ漁具ハ竿釣、投網、受網(方言サテ網)、掬ヒ網
(方言蝦タマ、蝦持網ノ類)、ゴリヒキ、笠具、介藻採具ニ限ル
コト

第二項 漁業組合ヲ設置セル漁場ニ於テハ其地組合規
約ニ規定セル禁止ノ事項ヲ遵守スル事

第十八條 第十三條第三項ニ屬スルモノ及第十四條捕採

禁止期間ノ當該水族ハ第十一條ノ目的ニ供用スルモノ
ニ限リ捕採スルコトヲ得此場合ニ於テハ同條記載事項
ノ外更ニ其捕採ノ場所、種類、及漁法ヲ具シ知事ノ認可テ
受クヘシ

第三章 漁業組合

第十九條 漁業組合ハ水産動植物ノ蕃殖保護及漁業ノ發
達ヲ圖リ兼テ所屬漁場及漁業者營業上ノ取締ヲナシ同
業一般ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トナスヘシ

第二十條 漁業組合ハ所屬漁場ノ區域ヲ標準トシ其利害
ヲ同フスル地區ニ依リ之ヲ設置スヘシ
漁業上他ノ組合ト聯合ノ必要アルトキハ別ニ聯合組合
ヲ設置スヘシ

第二十一條 漁業組合ニ左ノ役員ヲ置クヘシ

組合長 一名

理事 若干名

組合事務ノ都合ニヨリ前項ノ外組合副長一名及組合付
屬員若干名ヲ増置スルコトヲ得

第二十二條 組合長ハ組合事務ヲ統轄シ且官廳及外部ニ
對シ其組合ヲ代表スヘシ

組合副長及理事以下ハ組合事務ヲ分掌シ且組合長不在
ノトキハ組合副長(副長ヲ置カサル組合ハ理事)代理スヘ
シ

第二十三條 漁業組合ニ漁業者總代若干名ヲ置キ組合ヲ
監督セシメ兼テ其重要ナル事件ノ施行ニ參與セシムヘ
シ

シ

第二十四條 組合長及組合副長ノ就任ハ漁業者總代連署
又ハ其連署ナキ理由書ヲ以テ知事ノ認可ヲ受ケ其退任

ハ同上手續ヲ以テ知事へ届出ツヘシ
知事ハ組合長及組合副長ノ不適任ト認ムルトキハ其改
撰ヲ命スルコトアルヘシ

第二十五條 漁業組合ハ理事及漁業者總代ノ就任退任ノ

都度其住所姓名年齢ヲ記シ知事へ届出ツヘシ
第四條ノ總代ハ就任者ヨリ前項ノ手續ヲナスヘシ

第二十六條 左ノ各項ニ該當スルモノハ組合長組合副長
理事及漁業者總代タルコトヲ得ス

第一項 丁年未滿ノモノ

- 第二項 瘋癲白痴ノモノ
 - 第三項 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサルモノ
 - 第四項 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ滿期後又ハ赦免後三ヶ年ヲ經サルモノ
 - 第五項 公權剝奪若クハ停止中ノモノ
 - 第六項 水産取締規則若クハ組合規約ニ違背シ其處分ヲ受ケ一ヶ年ヲ經サルモノ
- 第二十七條 漁業組合ノ規約ニ掲クヘキ事項ハ左ノ如シ
- 一 組合ノ名稱及事務所ノ位置
 - 二 組合ノ地區及組織
 - 三 加入者及退去者ニ關スル規程

- 四 組合役員及漁業者總代ノ人員選舉任期權限并ニ給料旅費ニ關スル規程
 - 五 會議ニ關スル規程
 - 六 水産蕃殖及保護ノ方法
 - 七 漁村維持ノ方法
 - 八 漁場區域
 - 九 費用ノ賦課徵收及支出ニ關スル規程
 - 十 違約者處分ニ關スル規程
 - 十一 前各項ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第二十八條 各漁業組合ニ於テ利害ニ關スル事項ヲ議スルノ必要アルトキハ聯合會ヲ開設スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ其關係組合ノ長連署シ事由ヲ具シ知事ノ

認可ヲ受クヘシ

第二十九條 漁業組合員ハ組合及聯合會ニ關スル總テノ費用ヲ負擔スルモノトス

第三十條 漁業組合費用ノ收入支出豫算ハ組合會ノ決議ヲ經當該年度〔年度トハ曆年度ヲ云フ以下之ニ做ス〕三十日前知事ノ認可ヲ受クヘシ

但臨時施行ニ要スル費用ハ其施行前本文ノ手續ヲ經

ヘシ

第三十一條 知事又ハ所轄郡長ハ吏員ヲ派遣シ漁業組合

事務ノ舉否其他事業ノ施行若クハ成績等ヲ視察又ハ監

査セシムルコトアルヘシ

此場合ニ於テハ漁業組合ハ書類帳簿ノ點檢及實地ノ視

察ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十二條 漁業組合ハ前年度ニ係ル事業ノ成績及費用

ノ精算書ヲ調製シ其年度後三月以内ニ知事ニ報告ス

ヘシ

第三十三條 漁業組合ハ規約違反者ヲ處分シタルトキハ

其住所姓名年齢事由ヲ記シ知事ニ報告スヘシ

第三十四條 漁業組合ノ規約ヲ加除訂正セントスルトキ

ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四章 罰則

第三十五條 此規則第五條第六條第十條第十三條第一項

第二項ニ違背シタルモノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ

一處シ第九條第十三條第三項第十四條第十六條第十七條

ニ違背シタルモノハ貳拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科
料又ハ一日以上四日以下ノ拘留ニ處ス

附 則

第三十六條 此規則ハ明治二十八年一月一日ヨリ施行ス

但第十三條第一項第二目ニ屬スル漁具(漏斗網ヲ除ク)

及同條第二項第四目ノ漁法ニ限リ明治三十年十二月

三十一日マテ其實施ヲ延期ス

第三十七條 此規則發布以前ニ漁業上ニ關シ許可若クハ

認可ヲ受ケタルモノハ其指定期間仍ホ有効トス

第三十八條 此規則發布以前ニ認可セル漁業組合規約ハ

此規則ニ照シ抵触又ハ遺漏セル事項ヲ更正追加シ本年

十二月二十五日マテニ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十九條 新ニ漁業組合ヲ設置スヘキ地區ハ其漁場ニ

關係アル他組合ノ連署又ハ連署ナキ理由書ヲ添ヘ知事

ノ認可ヲ受クヘシ

此規則發布ノ當時ニ於テ設置スヘキ地區ハ二十八年一

月二十五日マテニ前項ノ手續ヲナスヘシ

第四十條 漁業組合ヲ設置セントスルトキハ其地區内ニ

任スル漁業者公選ヲ以テ設立委員若干名ヲ舉ク規約編

成及組合成立ニ至ルマテノ事務ヲ取扱ハシムヘシ

第四十一條 明治十三年^月ニ本縣甲第四百十四號明治十

四年^月ハ本縣甲第四百十九號明治十六年^月ハ本縣甲第六十

四號明治十六年^月ニ本縣甲第八十九號明治十七年^月本縣

甲第六十七號明治十八年^月本縣甲第七十二號明治十八年

月十二本縣甲第八十七號明治十九年八月縣令第二號明治十九年六月本縣告第百十七號明治二十年八月縣令第五十二號明治二十三年七月縣令第三十一號明治二十四年七月縣令第二十三號及此規則ニ牴觸ノ諸令達ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

公示第百九十九號十一月廿四日

明治二十三年法律第七十七號ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ府下熊野郡久美濱村ヲ久美濱町ト改稱ス

公示第百一號十二月廿二日

當府田中警察署本年十一月二十九日山城國愛宕郡下鴨村ニ移轉シ下鴨警察署ト改稱ス

公示第百三號十二月廿二日

京都區裁判所管内受持公證人木村喬一郎本月三日ヨリ左記ノ場所ニ於テ事務取扱候旨通知アリタリ

京都市下京區六角通柳馬場東入井筒屋町一番戸

公示第百五號十二月廿二日
市制第四條町村制第四條ニ依リ葛野郡大內村大字八條小字二人塚ノ内左記反別ヲ京都市下京區藥園町ニ編入ス

地目	地番	反別	持主
田	二ノ内	十步	大內村 田中常七
田	三ノ内	十七步	同
田	十二ノ内	三歩	同
畑	十六ノ内	六歩	同

畑	十五ノ内	三	步	同
道	九ノ一	一坪三合	官	有
道	二十六ノ一	三合四勺	同	
溝	十ノ一	九合一勺	同	
土揚場	二十四ノ一	六合五勺	同	
合計	民有地一畝九步 官有地三坪二合			

公示第二百六號 十一月十三日

大阪府ニ於テ別紙漁業取締規則ヲ制定シタル旨通知アリ

(別紙)

府令第九十六號

漁業取締規則則左ノ通相定ム

但明治十九年十一月十一府令第三十三號ハ廢止ス

明治二十七年十二月六日

大阪府知事山田信道

漁業取締規則

第一條 此規則ニ於テ漁業ト稱スルモノハ水産ノ動植物

ヲ採捕スル營業ヲ總稱ス

第二條 府ノ内外人ヲ問ハス當府管内ニ於テ漁業ヲ營ム

モノハ此規則ヲ遵守スヘシ

第三條 漁具漁法及漁場區域ハ從來ノ慣行特約ニ據ルヘ

シ

第四條 慣行ナキ漁法又ハ新規ノ漁具ヲ使用セント欲ス

ルモノハ願書ニ其方法圖面ヲ添付シ當廳ヘ願出許可ヲ受クヘシ

第五條 前條ノ願書ニハ關係町村ノ漁人總代(漁業組合アル地ハ其組合)ニ於テ支障ナキノ保證ヲ受クヘシ

但公益ト認ムルトキ及實地支障ナシト認ムルトキハ保證ヲ要セス特許スルコトアルヘシ

第六條 漁業許可ノ後ト雖トモ水産ノ蕃殖若クハ公益ニ六アリト認ムル限キハ之ヲ中止シ又ハ區域期節等ヲ制限スルコトアルヘシ

第七條 漁業者ハ濫リニ自己ノ漁場區域外ニ出漁シ他ノ漁業ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第八條 漁業組合設置ノ漁場ニ於テ組合外ノモノ從來ノ

價行特約ニヨリ漁業ヲ爲スモノハ其地組合規約ニ遵フ

第九條 漁業組合設置ノ漁場ニ於テ遊樂若クハ自用ノ爲

事項ヲ遵守スルモノハ其地組合規約ニ定メタル制限禁止ノ事項ヲ遵守スルヘシ

第十條 左ニ掲クル魚族ハ捕獲スルコトヲ得ス
一 小鰻(方言ヒユセリ)又ナキ(コ)鰻(兒方言ギンシヤコ)

第十一條 左ノ諸川ニ於テ鰻魚ハ毎年十一月一日ヨリ翌年五月三十一日迄鱒魚ハ毎年六月一日ヨリ七月三十一日迄ノ間ニ於テ捕獲スルコトヲ得ス

一 攝津國澁川本支流(支流トハ神崎川中津川安治川其他澁川ヨリ分派スル諸流ヲ云フ)及其河口

一同國寢屋川

一同國鯉江川

一同國猪名川

第十二條 毒流(石灰又ハ秦椒皮ノ類)又ハ爆發物ヲ以テ漁

業ヲナスヘカラス

第十三條 本則第四條第七條第八條第九條第十條第十一

條第十二條ニ違背シタルモノハ一日以上十日以下ノ拘

留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處

ス

公示第二百八號

十一月十九日

綴喜郡一般相樂郡一般

明治二十三年^{十一月}當府告示第百九號管内印紙類元賣捌所
代理店ノ内左ノ通變更ス

木津收稅署所轄内

相樂郡木津町字木津第三百五十五番戶

樋口 萬藏

公示第二百九號

十二月十九日

今般佐賀縣ニ於テ蠶絲業取締規則左ノ通發布候旨通知アリタリ

(別冊)

佐賀縣令第八十號

蠶絲業取締規則左ノ通り相定メ來ル明治二十八年二月一日ヨリ施行ス

但明治二十二年^{六月}佐賀縣令甲第四十九號同年^{八月}佐賀縣令甲第六十六號明治二十三年^{六月}佐賀縣令甲第三十六號

ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

明治二十七年十一月二十二日

佐賀縣知事田邊輝實

蠶絲業取締規則

第一條

此規則ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ左ノ一項又ハ數項ニ該當スルモノナ云フ

但自家用ノ爲メ蠶種二角(普通製十六分ノ一チ一角トシ)以下ヲ飼養

シ及其成繭ヲ製絲スルモノハ此限ニアラス

一蠶ヲ養フモノ

一蠶種及生絲ヲ製造スルモノ

一蠶種ヲ仲買シ又ハ讓與交換スルモノ

一繭ヲ買收シ繭生絲及屑物ヲ賣リ又ハ仲買シ若クハ讓

與交換スルモノ

第二條 蠶絲業者ハ一郡市役所々轄區域ヲ一區ト定メ組

合ヲ設置シ其他ノ組合ニ加盟スヘシ

第三條 組合區域ノ聯合又ハ分割ヲ爲スノ必要アルトキ

ハ當廳ノ特許ヲ得テ分合スルコトヲ得

第四條 組合ノ名稱ハ佐賀縣何郡蠶絲業組合ト稱スヘシ

第三條ニ依リ當廳ノ特許ヲ得組合區域ヲ分割シタルト

キハ佐賀縣何郡東又ハ西部蠶絲業組合ト稱シ其聯合シタ

ルトキハ佐賀縣何郡南又ハ北部蠶絲業組合ト稱スヘシ

第五條 組合ハ其組合地區内便宜ノ地ニ組合事務所ヲ設

置スヘシ

第六條 組合ニハ組合長及幹事以下役員若干名ヲ置キ組

合一切ノ事務ヲ取扱フヘシ

第七條 組合長及幹事ハ其組合會議ニ於テ組合員中ヨリ
公選シ當應ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 組合ハ組合會議ヲ開キ組合規約及經費豫算其他
組合ニ關スル重要ノ事ヲ議定スヘシ

第九條 組合會議ノ議員ハ部内ノ組合員中ヨリ之ヲ公選
スヘシ

第十條 組合規約ニハ左ノ事項ヲ規定シ當應ノ認可ヲ經
テ施行スヘシ

第一項

一 桑樹ノ栽培及蠶兒ノ飼育ヲ善良ナラシムルノ方法

一 種繭及蠶種検査法

一 生絲検査法

一 桑病豫防ノ方法

一 繭ノ殺蛹及貯藏ノ方法

一 製絲ニ最モ良好ナル蠶兒ヲ育養シ其種類ヲ一定スル

コト

一 繭ノ種類及殺蛹法ノ異ナルモノヲ混淆賣買セサルコ

ト

一 製絲ハ繰取アル揚ケ篋ヲ用ヒ尺度ヲ一定スルコト

一 生絲ノ結束及綴ノ量目ヲ一定スルコト

第二項

一 組合ノ區域

一 組合事務所ノ位置

一 組合會議員及役員選舉ノ方法

- 一 組合會議ニ關スル規程
 - 一 組合員入退者取扱方法
 - 一 違約者處分ノ方法
 - 一 組合經費ノ賦課徵收及支出ノ方法
 - 一 蠶絲業上ノ統計方法
 - 一 前二項ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第十一條 組合事務所ニ於テハ組合員證票ヲ製シ之ヲ組合員ニ交付スヘシ
- 但入退者ノ住所氏名ハ其都度取締所ニ報告スヘシ
- 第十二條 組合員ハ必ス其組合ノ證票ヲ携帯スヘシ
- 第十三條 組合員ハ組合及取締所ノ規約ヲ遵守シ且其費用ヲ負擔スヘシ

- 第十四條 組合長ハ常ニ組合内ノ業務ニ注意シ事業ノ隆盛ヲ圖ルヘシ
- 第十五條 蠶種製造ノ用ニ供スル繭ハ其地組合ノ検査ヲ受ケ合格ノモノニ限ル
- 第十六條 蠶種ヲ製造スルニハ異種類混淆ハ勿論餘付糊付等ヲナスヘカラス又左ニ掲クル繭ヲ以テ其原料ニ供スヘカラス
- 一 同功繭
 - 一 屑繭
 - 一 病蠶ノ成繭
 - 一 他人ノ成繭
- 第十七條 蠶種ニハ原紙ノ表面ニ其種類(春、夏、秋蠶)名稱(赤

熟、青熟、小石丸ノ類)裏面ニ製造者ノ住所氏名及製造年度ヲ明記スヘシ

但框製種ノ原紙ニハ種類名稱及製造者ノ住所氏名及製造年度ヲ表面ノ左側ニ明記スヘシ

第十八條 蠶種ハ其地組合ノ検査済ノ證アルニアラサレ

ハ之レカ賣買讓與交換ヲナシ又ハ飼育スルコトヲ得ス

第十九條 生絲ハ括造以上ノモノハ其地組合検査済ノ證

アルニアラサレハ之レカ賣買讓與ヲナシ又ハ交換スル

コトヲ得ス

第二十條 繭生絲荷造ノ上ハ其地組合ノ名稱及製造者若

クハ取扱人ノ住所氏名ヲ記シタル標章ヲ付スヘシ

但商標ヲ貼付シタルモノハ此限ニアラス

第二十一條 生絲ハ良否混淆或ハ不正ノ重量ヲ付シ又ハ

二緒以上ヲ合セ揚返シタルモノハ之レカ賣買讓與ヲナ

シ又ハ交換スルコトヲ得ス

第二十二條 縣下便宜ノ地ニ取締所ヲ設ケ各組合ヲ統轄

スヘシ

第二十三條 取締所ハ取締所會議ヲ開キ取締所規約及經

費豫算其他取締所ニ關スル重要ノ事ヲ議定スヘシ

第二十四條 取締所ノ會議ハ各組合選出ノ議員及各組合

長ヲ以テ組織スヘシ

第二十五條 取締所會議ノ議員ハ各組合會議々員ノ互選

ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條 取締所會議ニ出席スヘキ各組合選出議員ノ

數ハ繭及生絲產額ノ多寡ニ依リ規約ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二十七條

取締所ニ頭取及理事以下役員若干名ヲ置キ取締所ノ事務ヲ取扱フヘシ

第二十八條

頭取及理事ハ取締所會議ニ於テ各組合員中ヨリ之ヲ選定シ其都度當廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十九條

取締所ノ規約ニ左ノ事項ヲ規定シ當廳ノ認可ヲ經テ施行スヘシ

一取締所ノ位置

一組合ノ氣脈ヲ聯通スルノ方法

一組合ノ監督及蠶絲業ノ改善進步ヲ圖ルノ方法

一内外蠶絲業ノ實況調査及之ヲ各組合ニ報告スルノ方法

法

一蠶絲業上ニ係ル統計方法

一取締所會議々員及選舉ノ方法

一取締所會議ニ關スル規程

一取締所經費ノ賦課徵收及支出ノ方法

右ノ外取締所會議ニ於テ必要ト認メタル事項

第三十條 取締所經費ノ徵收及支出豫算ハ當廳ノ認可ヲ經テ施行スヘシ

第三十一條 頭取ハ常ニ内外蠶絲業上ノ實況ニ注意シ各組合ノ業務ヲ總理スヘシ

第三十二條 頭取及理事又ハ組合長及幹事ヲ不適任ト認

ムルカ或ハ不都合ノ行爲アルトキハ當廳ハ其改選ヲ命

スルコトアルヘシ

第三十三條 他府縣管下ノ者ト雖モ當縣管下ニ於テ蠶絲業ニ從事スルトキハ此規則ノ取締法ヲ遵守スヘシ

但他府縣産ニシテ其府縣蠶絲業組合若クハ取締所檢査濟ノ證印アルモノハ此限ニアラス

第三十四條 本則ニ依リ當廳ハ差出スヘキ文書ハ總テ所轄町村役場及郡市役所ヲ經由スヘシ

第三十五條 本則第二條第十六條第十八條第十九條第二十條第二十一條第三十三條ニ違背シタルモノハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

附則

第三十六條 取締所及各組合ハ本則ニ依リ更ニ規約ヲ議定シ來ル明治二十八年二月二十八日迄ニ認可願出ヘシ

公示第二百十二號 十二月廿五日

府社以下神社々司社掌ノ資格并薦舉ノ義ハ追テ何分ノ規則相定候迄從前ノ手續ニヨリ氏子(氏子ナキ)總代(向ハ信徒)ヨリ候補者ヲ推薦スヘシ

但社掌ノ員數及神職俸給額ハ各社ニ於テ之ヲ議定シ前以テ認可ヲ受クヘシ

正誤

上卷

二 關ハ關ノ誤リ
 六十八 京ハ市ノ誤リ
 百八十一 與ノ下及ノ字ヲ脱ス
 百九十七 改帖ハ改記ノ誤リ
 二百 テハナノ誤リ
 二百五 酒ハ何ノ誤リ
 二百三十八 年ノ下何ノ字ヲ脱ス
 二百六十二 歳ハ職ノ誤リ
 三百二 醫ハ醫ノ誤リ

下卷

三 其ノ下教ノ一字ヲ脱ス
 百六 保人証ハ保証人ノ誤リ
 百十 二十八年ハ二十三年ノ誤リ
 百十三 二十一日ハ二十三日ノ誤リ
 百三十九 前日ハ前月ノ誤リ
 百四十七 毒ハ毎ノ誤リ
 三百六十 收ハ没ノ誤リ
 四百九十四 害ハ六ノ誤リ
 同 六ハ害ノ誤リ
 四百九十九 他ハ地ノ誤リ
 五百五 辨ハ第ノ誤リ

明治廿九年三月十七日印刷
 明治廿九年三月廿三日發行

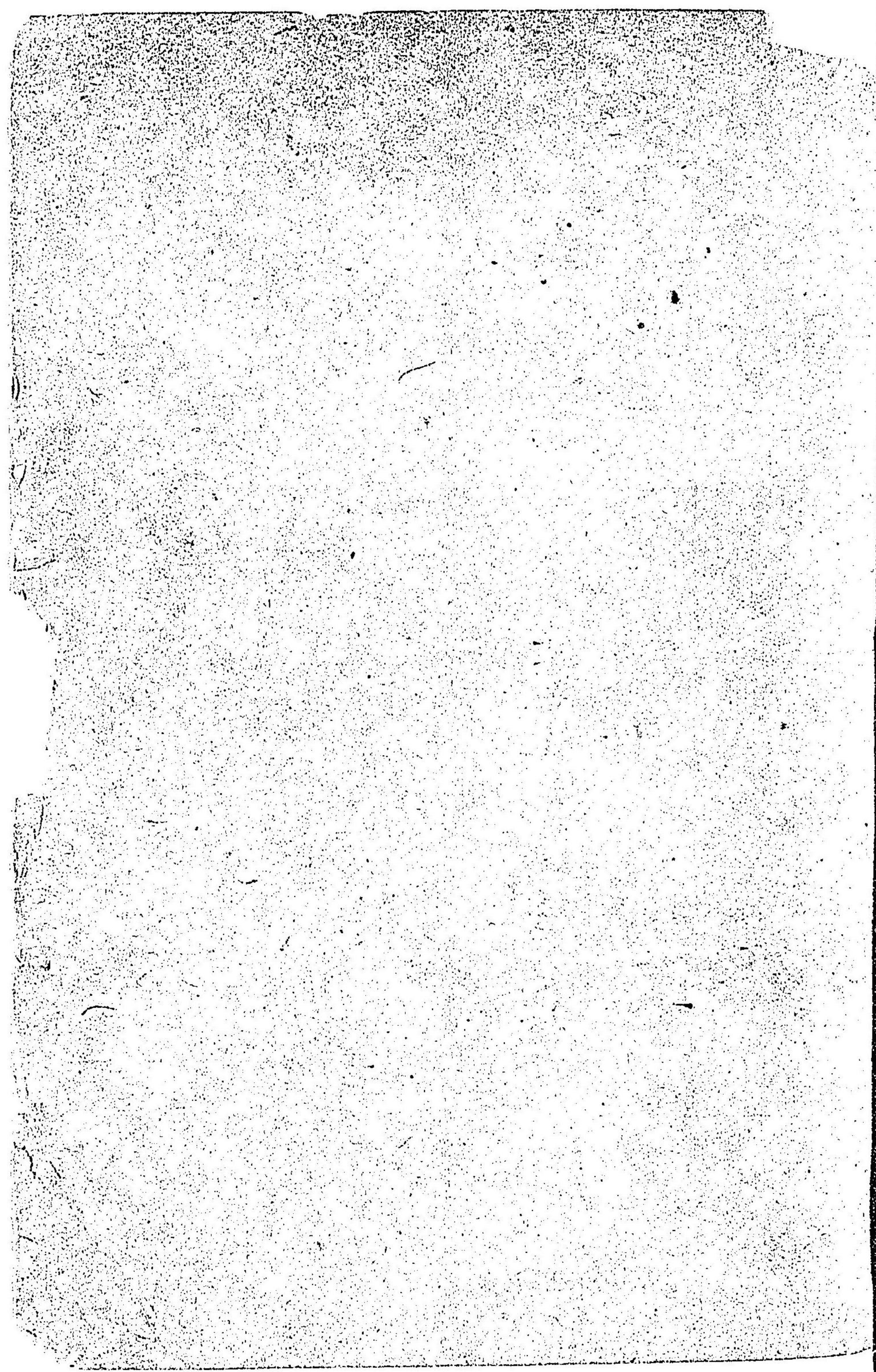
京都府

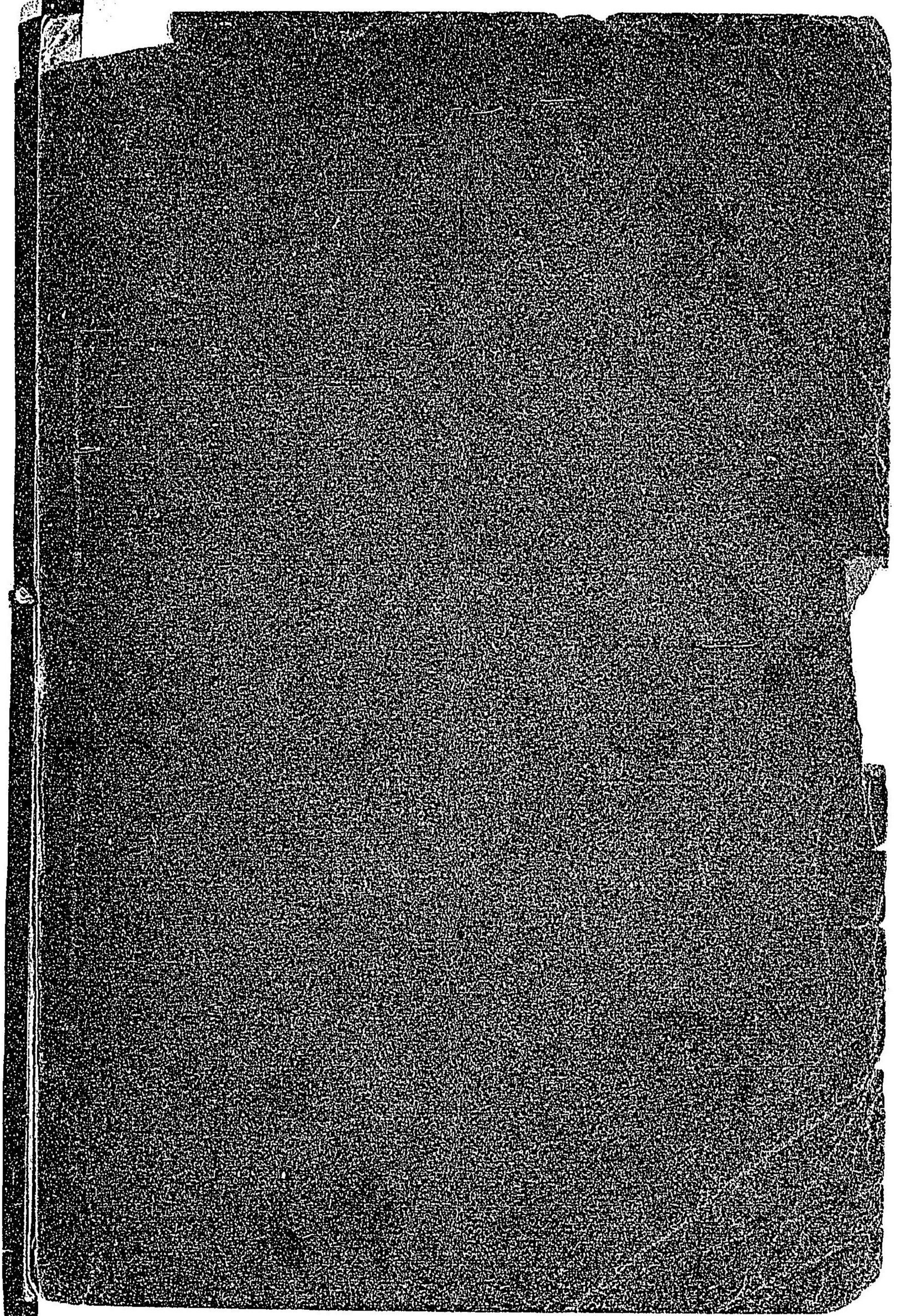
京都府京都市上京區下立賣通小川東入
 西大路町第十番戶

發行者 中西嘉助

京都府京都市上京區下立賣通小川東入
 西大路町第十番戶

印刷者 松香堂 中西嘉助





禁電子式複写

明治
京都府
京都府府令達要約
編五十一
下卷
京都府内務部第一課編纂

031248-024-7

CZ-1113-69-02

京都府府令達要約

京都府内務部

M15-31

BBD-0291

